

ELECOM

ウイルススキャンソフト **NetStor Virus Scan**

User's Manual

ユーザーズマニュアル

2020年4月1日 第2版



本書は以下のソフトウェアの対応版です。

NetStor Virus Scan	Ver.1.0.7 以上
--------------------	--------------

エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
	操作上で注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、正常に動作できない場合があります。注意してください。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、エレコム・ネットワーク法人サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁止しており、ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTM は省略させていただきました。
- 本マニュアルは最新バージョンを基に記載しています。他のバージョンでは表記や機能が異なる場合があります。
- 本製品は、GNU General Public License に基づき許諾されるソフトウェアのオープンソースコードを含んでいます。
これらのオープンソースコードに限っては、「ソフトウェア使用許諾契約」の定めに関わらず、お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License の条件に従って、これらのソースコードを再頒布または改変することができます。
これらのソースコードは有用と思われるが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。
GNU General Public License の適用を受けないソースコードを含むソフトウェア全般に対して、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングを行い、その他ソースコードを調べる行為をした場合、または修正を本ソフトウェアに加えた場合は、「ソフトウェア使用許諾契約」違反となります。
なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、エレコム・ネットワーク法人サポートまでご連絡ください。
ただし、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。

本ツールの免責事項について

免責事項

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

サポートサービスについて

下記のエレコム・ネットワーク法人サポートへお電話でご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

エレコム・ネットワーク法人サポート (ナビダイヤル)

TEL : 0570-070-040

受付時間: 9:00~12:00、13:00~18:00 月曜日~土曜日

※祝祭日、夏季・年末年始休業日を除く

※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。お手数ですがNTTの固定電話(一般回線)や携帯電話からおかけくださいますようお願いいたします。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

エレコム・ネットワーク法人サポートにお電話される前に

サポートページで「よくある質問」をご確認ください。

「よくある質問」をお読みいただいても解決しない場合は、以下をご用意のうえ、お電話をお願いします。

- ・ 製品の型番
- ・ ご質問内容 (症状、エラーメッセージ、やりたいこと、お困りのこと)

もくじ

Chapter 1	説明編	5
1.1	概要	6
Chapter 2	起動／停止方法	7
2.1	インストール方法	8
2.2	起動方法	10
2.3	停止方法	11
Chapter 3	初期設定	12
3.1	スキャンジョブを作成する	13
3.2	定義ファイルの自動更新設定をする	18
3.3	定義ファイルを手動で更新する	19
3.4	ログの設定をする	21
Chapter 4	各ページについて	22
4.1	概要	23
4.2	スキャンジョブ	24
4.3	ログ	25
4.4	隔離	26
Chapter 5	よくあるご質問	27

Chapter 1



説明編

1.1

概要

弊社製、Linux NAS NSB-5A7A シリーズをご利用いただけるウィルススキャンアプリです。

NAS の共有フォルダーに保存されたファイルのスケジュールスキャン、マニュアルスキャンが可能です。

ウィルス定義ファイルはインターネット経由で自動更新が可能です。

■ 利用条件について

NSB-5A7A シリーズをご利用で、かつ該当製品を「NAS みる」に登録済みの NAS へインストールすることが可能です。

詳細は下記の Web ページでご確認いただけます。

<https://www.elecom.co.jp/pickup/contents/00011/>

■「NASみる」について

「NAS みる」はエレコム製 NAS 製品 "NSB シリーズ" をご利用いただくにあたり、無償で利用できるクラウド型 NAS 管理サービスです。Web ブラウザでの運用が可能で、OS 環境を選ばず、インターネット経由でシステム管理者の PC で一元管理できるので、NAS 製品の運用管理の負担を軽減することができます。

NAS みるの機能の詳細や、ご登録は下記の Web ページでご確認いただけます。

<https://www2.elecom.co.jp/nasmiru/>

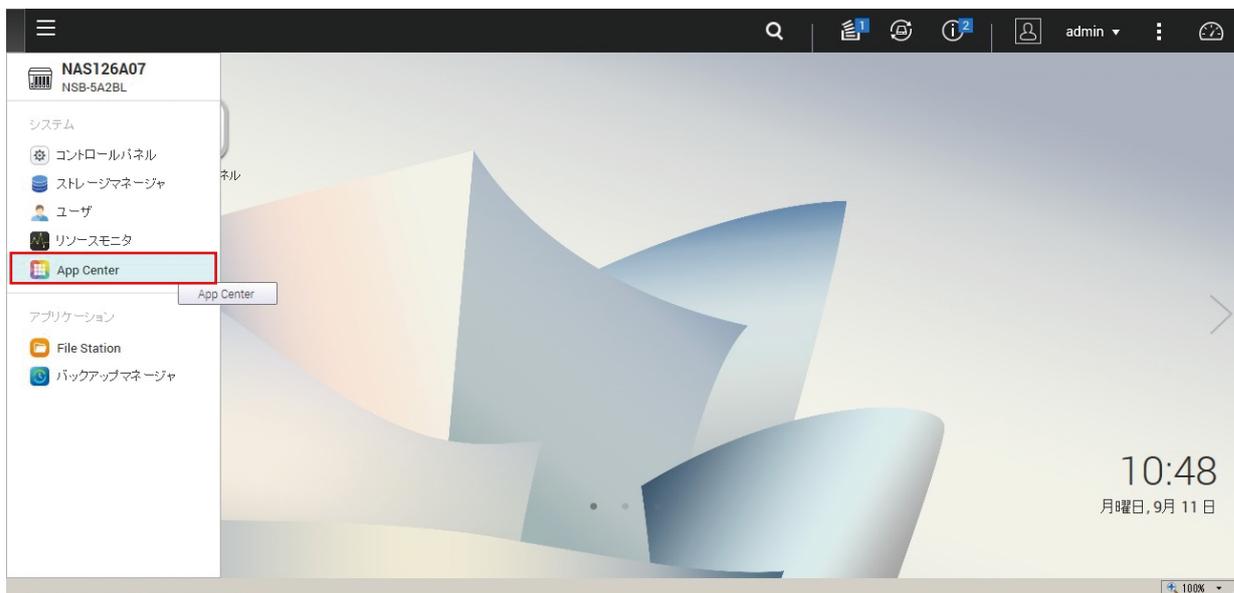
Chapter 2

起動／停止方法

2.1 インストール方法

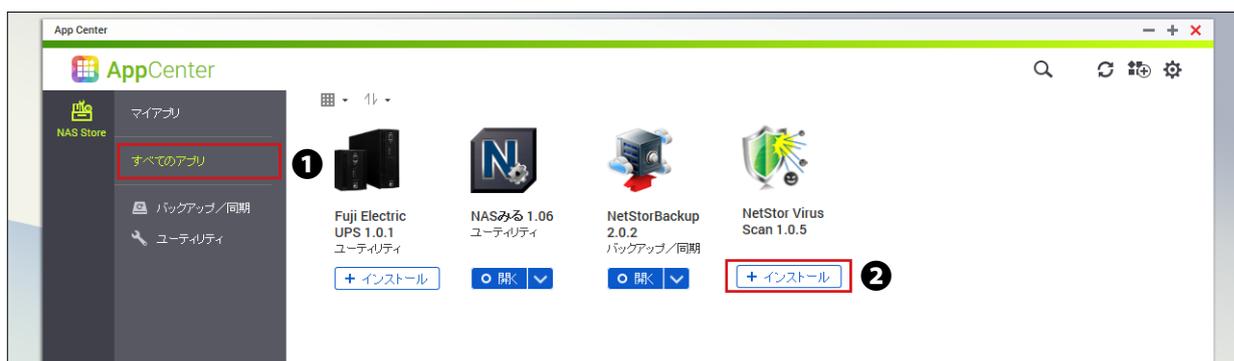
● 本ソフトの使用には NAS みるに製品登録している必要があります。

1 NAS の「管理画面」へログインし、「App Center」の「マイアプリ」を開きます。

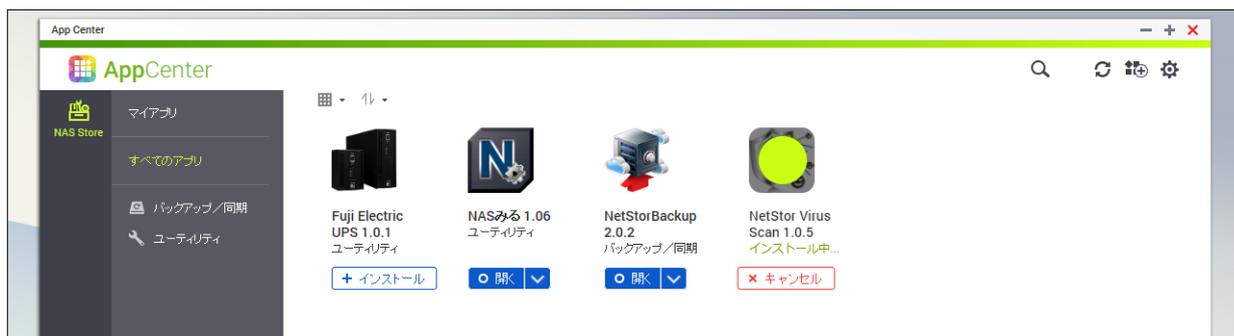


2 「App Center」画面で「すべてのアプリ」をクリック (❶) することにより、インストール可能なアプリの一覧が表示されます。

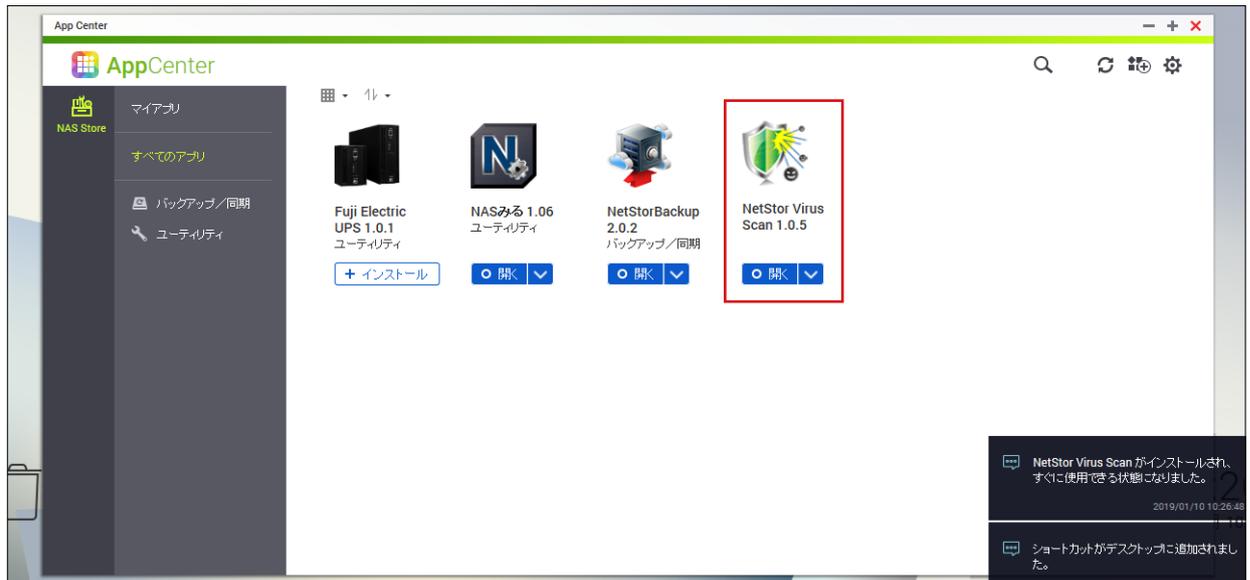
ここで、「NetStor Virus Scan」アイコン下の [+ インストール] をクリック (❷) します。



3 インストールが完了するまで、しばらくお待ちください。



インストールが完了すると、画面右下にメッセージが表示され、「マイアプリ」に「NetStor Virus Scan」のアイコンが追加されます。

**MEMO****【アプリケーションを手動でインストールする場合】**

- ① 事前にインストールするアプリケーションファイルをクライアント PC に保存します。
- ② 「AppCenter」画面を開き右上の  アイコンをクリックします。
- ③ 「手動でインストール」画面が表示されたら「参照」ボタンをクリックし、インストールするファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。
- ④ 「インストール」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「このソフトウェアパッケージをインストールしますか？」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。
- ⑥ インストールが開始されますので、完了するまでお待ちください。
- ⑦ インストールが完了後はメッセージに従い「手動でインストール」画面を閉じます。
- ⑧ 「AppCenter」画面に追加されたアプリケーションの「開く」ボタンをクリックしてアプリケーションを起動します。

2.2 起動方法

NASの「管理画面」へログインし、「App Center」の「マイアプリ」を開き、「NetStor Virus Scan」アイコンの「開く」をクリックします。

管理画面のログイン方法はNAS本体のユーザーズマニュアル「管理画面へのアクセス手順」をご確認ください。



NetStor Virus Scanが起動し、別タブで概要ページが表示されます。メニュータブをクリックすると、各ページが表示されます。



- 本ソフトの使用にはNASみるに製品登録している必要があります。

2.3 停止方法

- 1 NASの「管理画面」へログインし、「App Center」の「マイアプリ」を開きます。
- 2 「NetStor Virus Scan」アイコンの「▼」をクリックしてメニューを開き、「停止」を選択します。



Chapter 3



初期設定

3.1 スキャンジョブを作成する

スキャンを実行するためには、スキャンジョブを作成する必要があります。

1 「スキャンジョブ」タブをクリックします。



2 「スキャンジョブ」ページが表示されますので、「スキャンジョブの追加」ボタンをクリックします。



3 「スキャンジョブの作成」画面が表示されますので、以下の設定をします。

スキャンジョブの作成 ✕

① **フォルダーの選択**

ジョブ名:

すべてのフォルダー

特定のフォルダー

② **スケジュール**

今すぐスキャン

間隔スキャン

毎日スキャン

毎週スキャン

時間:

開始時間: :

開始時間: :

曜日:

①	フォルダーの選択	ジョブ名とスキャン対象のフォルダーを設定します。	
		ジョブ名	わかりやすい名前をつけます。 ● 入力できる文字は以下のとおりです。 ・半角英数字 ・「_ (アンダースコア)」 ・「- (ハイフン)」 ・マルチバイト文字 (ひらかな、カタカナ、漢字など) ● 最大 15 文字まで設定できます。
		すべてのフォルダー	「/share」以下のフォルダーがすべてスキャン対象となります。
	特定のフォルダー	特定のフォルダーをスキャン対象にします。ラジオボタンで選択した後、「参照」をクリックしてフォルダーを選択してください。	
②	スケジュール	スキャンを実施するスケジュールを設定します。	
		今すぐスキャン	スキャンジョブ登録後、すぐにスキャンを実施します。
		間隔スキャン	設定した時間ごとにスキャンを実施します。間隔時間は以下のいずれかを選択できます。(1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 12 時間)
		毎日スキャン	毎日指定した時間にスキャンを実施します。
	毎週スキャン	毎週指定した曜日の時間にスキャンを実施します。	

③ ファイルフィルター

- すべてのファイルをスキャン
- クイックスキャン (潜在的に危険なファイルのみをスキャン)
- ファイルやフォルダーを除外

※ここで指定したファイルやフォルダーを、スキャン対象から除外します。
区切り文字として; (セミコロン) を入力してください。

③	ファイルフィルター	スキャン対象から除外するファイルを設定することができます。	
		すべてのファイルをスキャン	すべてのファイルをスキャン対象にします。(除外なし)
		クイックスキャン	以下の拡張子のファイルのみスキャン対象にします。 *.386;*.bat;*.bin;*.blf;*.dll;*.bmp;*.bmw;*.boo;*.chm;*.cjh;*.cla;*.class;*.cmd;*.cnm;*.com;*.cpl;*.cxq;*.cyw;*.dbd;*.dev;*.dlb;*.dlb;*.dll;*.dllx;*.drv;*.eml;*.exe;*.ezt;*.gif;*.hlp;*.hsq;*.hta;*.ini;*.iva;*.iws;*.jpeg;*.jpg;*.js;*.lnk;*.lok;*.mqx;*.oar;*.ocx;*.osa;*.ozd;*.pcx;*.pdf;*.pgm;*.php;*.php2;*.php3;*.php4;*.php5;*.pid;*.pif;*.plc;*.png;*.pr;*.qit;*.scr;*.scr;*.shs;*.ska;*.smm;*.ssy;*.swf;*.sys;*.tif;*.tps;*.vb;*.vba;*.vbe;*.vbs;*.vbx;*.vexe;*.vsd;*.vxd;*.wmf;*.ws;*.wsc;*.wsf;*.wsh;*.wss;*.xlm;*.xlr;*.xlv;*.xml;*.xnt;*.zix;*.zvz
ファイルやフォルダーを除外	チェックすると、スキャン対象から除外するファイルを設定することができます。 ● 「: (コロン)」を区切り文字として入力します。 ● 入力できる文字は以下のとおりです。 ・ 半角英数字、 ・ 「_ (アンダースコア)」 ・ 「- (ハイフン)」 ・ 「/ (スラッシュ)」 ・ 「; (セミコロン)」 ・ マルチバイト文字 (ひらかな、カタカナ、漢字など) ● ワイルドカードは使用できません。		

④ スキャンオプション

スキャンするファイルの最大サイズ (MB) (1~4095) 圧縮したファイルをスキャン

⑤ 感染したファイルが見つかった時のアクション

 ウイルス報告のみ 感染したファイルを隔離場所に移動 感染したファイルを自動的に削除 **注意して使用** 感染したファイルが見つかった場合にアラートメールを送信する スキャン終了後にアラートメールを送信する

注意：アラートメールを送信するには、「コントロールパネル」 > 「システム」 > 「通知」から、SMTPサーバーとアラート通知を設定する必要があります。

OK

キャンセル

④	スキャンオプション	スキャンするファイルの最大サイズ	指定したファイルサイズ以上のファイルをスキャン対象から除外します。
		圧縮したファイルをスキャン	チェックを外すと、圧縮されたファイルはスキャン対象から除外します。
⑤	感染したファイルが見つかった時のアクション	ウイルス報告のみ	ウイルスを検出したファイルに対してとくに処置を行いません。
		感染したファイルを隔離場所に移動	ウイルスを検出したファイルを隔離場所に移動します。
		感染したファイルを自動的に削除	ウイルスを検出したファイルを自動的に削除します。
		感染したファイルが見つかった場合にアラートメールを送信する	チェックすると、ウイルスファイル検出時にアラートメールが送信されます。送信先は「コントロールパネル」 > 「システム」 > 「通知」で設定したアドレスとなります。
		スキャン終了後にアラートメールを送信する	スキャン完了時にメールが送信されます。送信先は「コントロールパネル」 > 「システム」 > 「通知」 > 「アラート通知」で設定したアドレスとなります。

4 [OK] をクリックすると、スケジュール設定されたスキャンジョブが一覧に表示されます。



各ジョブのアクション欄のボタンをクリックすることで、ジョブを編集したり、ログを閲覧することができます。

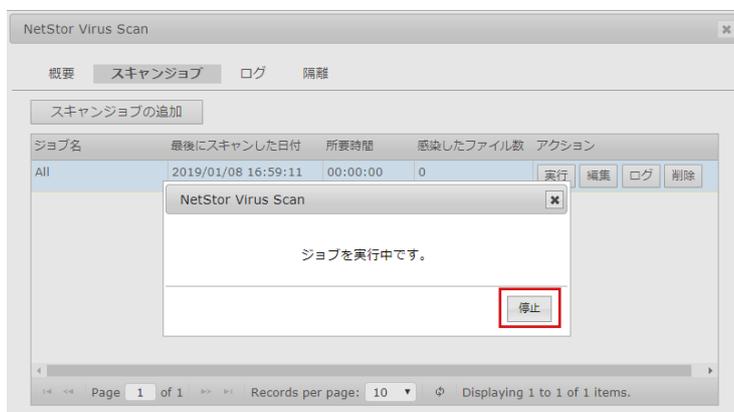
アクション	実行	スキャンジョブをすぐに実行します。
	編集	「スキャンジョブの作成」画面が表示され、スキャンジョブを編集することができます。
	ログ	前回実行したスキャンジョブのログを表示します。
	削除	スキャンジョブを削除します。

続いて、必要に応じて**定義ファイルの自動更新設定 (18 ページ)** や**ログ設定 (21 ページ)** を行います。

MEMO

手動で「実行」したスキャンジョブを停止したい場合は、実行中画面の「停止」ボタンを押してください。

この画面を×ボタンで閉じてしまった場合はスキャンジョブが終了するまでお待ちください。



一度にスキャン動作できるスキャンタスクは1つのみとなります。
例えばスケジュールスキャンにて複数タスクが同時実行された場合、正しく動作しない場合があります。

3.2

定義ファイルの自動更新設定をする

ウイルス定義を自動的に更新したい場合は、以下の設定をします。

- ウイルス定義ファイルの自動更新にはインターネット環境が必要となります。

1 「概要」タブをクリックします。



2 「概要」ページが表示されますので、「自動的に更新する」にチェックを入れ、更新する頻度（単位：日）を入力します。



3 「適用」をクリックして設定を確定します。

3.3

定義ファイルを手動で更新する

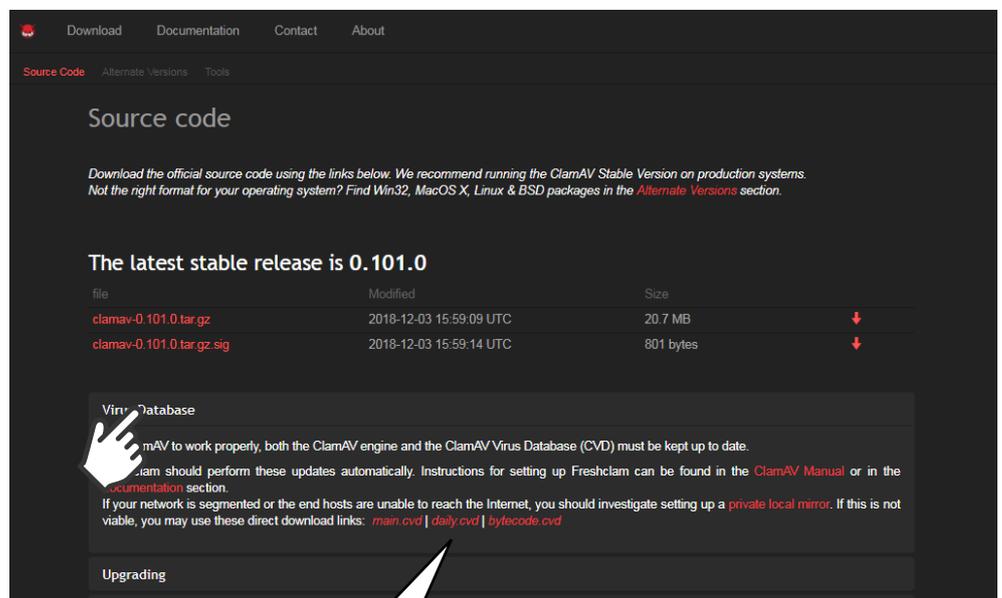
ウイルス定義を手動で更新する場合は、以下の手順で行います。

1 以下の手順でウイルス定義ファイルをダウンロードします。

- ① clamAVの公式サイト (<https://www.clamav.net/>) を表示し、「download」ボタンをクリックします。



- ② ダウンロードページが表示されますので、「Virus Database」をクリックし、「main.cvd」「daily.cvd」「bytecode.cvd」の各ファイルをダウンロードします。



If your network is segmented or the end hosts are unable to reach the Internet, you should investigate setting up a private local mirror. If this is not viable, you may use these direct download links: [main.cvd](#) | [daily.cvd](#) | [bytecode.cvd](#)

2 ダウンロードしたウイルス定義ファイルを以下の手順でインポートします。

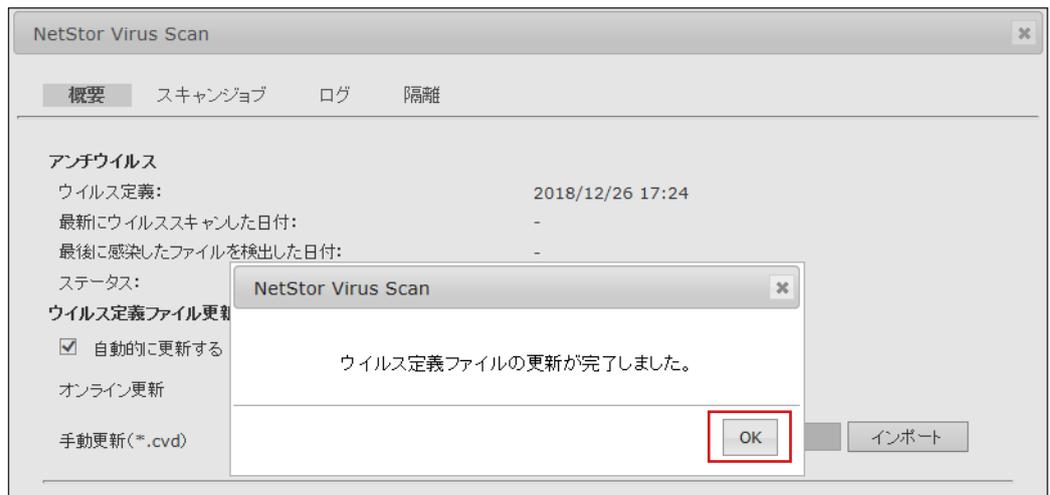
- ① Virus Scanの「概要」タブを開き、手動更新の「参照」ボタンをクリックします。



- ② ダウンロードしたファイルのいずれか1つを選択し「インポート」ボタンをクリックします。



- ③ 「ウイルス定義ファイルの更新が完了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。

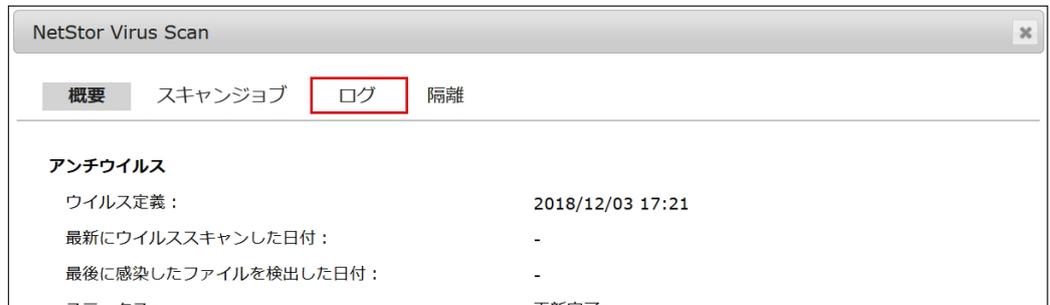


- ④ 残り2ファイルも同じように①～③の方法で更新します。

3.4 ログの設定をする

スキャンジョブのログ設定をおこないます。

1 「ログ」 タブをクリックします。



2 「ログ」 画面が表示されますので、以下の設定をします。



①	ログを保存する日数	ログを保存する日数を設定します。 「0」に設定すると、ログを残しません。
②	保存する日数を過ぎたログをアーカイブする	チェックすると、保存日数を過ぎたログファイルは指定したフォルダーに zip 形式で保存されます。 アーカイブファイルの保存先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして設定してください。 アーカイブファイルは以下の名前で保存されます。 ・ Antivirus_logs_yyyy_mm_dd.zip 例) 2018 年 12 月 7 日に保存された場合 ・ Antivirus_logs_2018_12_07.zip

3 「適用」 をクリックして設定を確定します。

Chapter 4

.....

各ページについて

4.1

概要



アンチウイルス	ウイルス定義	現在使用しているウイルス定義ファイルの日付が表示されます。																
	最後にウイルススキャンした日付	最後にウイルススキャンを実行した日付が表示されます。																
	ステータス	本ソフトの状態が表示されます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ステータス表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スキャンしています・・・</td> <td>スキャンジョブを実行中です。</td> </tr> <tr> <td>スキャンが完了しました</td> <td>スキャンジョブが完了しました。</td> </tr> <tr> <td>スキャンが停止しました</td> <td>スキャンジョブが何らかの原因で停止しています。</td> </tr> <tr> <td>更新しています・・・</td> <td>ウイルス定義ファイルを更新中です。</td> </tr> <tr> <td>更新完了</td> <td>ウイルス定義ファイルの更新を完了しました。</td> </tr> <tr> <td>更新に失敗しました。</td> <td>ウイルス定義ファイルの更新が何らかの原因で失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>エラーが起きています。</td> </tr> </tbody> </table>	ステータス表示	内容	スキャンしています・・・	スキャンジョブを実行中です。	スキャンが完了しました	スキャンジョブが完了しました。	スキャンが停止しました	スキャンジョブが何らかの原因で停止しています。	更新しています・・・	ウイルス定義ファイルを更新中です。	更新完了	ウイルス定義ファイルの更新を完了しました。	更新に失敗しました。	ウイルス定義ファイルの更新が何らかの原因で失敗しました。	—	エラーが起きています。
	ステータス表示	内容																
スキャンしています・・・	スキャンジョブを実行中です。																	
スキャンが完了しました	スキャンジョブが完了しました。																	
スキャンが停止しました	スキャンジョブが何らかの原因で停止しています。																	
更新しています・・・	ウイルス定義ファイルを更新中です。																	
更新完了	ウイルス定義ファイルの更新を完了しました。																	
更新に失敗しました。	ウイルス定義ファイルの更新が何らかの原因で失敗しました。																	
—	エラーが起きています。																	
ウイルス定義ファイル更新	自動的に更新する	チェックを入れると、設定した日数ごとにウイルス定義ファイルが自動的に更新されます。 自動更新にはインターネット環境が必要です。																
	オンライン更新	「今すぐ更新」をクリックすると、ウイルス定義ファイルが最新のものに更新されます。 オンライン更新にはインターネット環境が必要です。																
	手動更新	ウイルス定義ファイルを読み込むことで更新します。 手動更新には、「cvd」の拡張子のファイルが必要です。 ウイルス定義ファイルは、clamAVのオフィシャルサイトからのダウンロードすることができます。																

4.2

スキャンジョブ

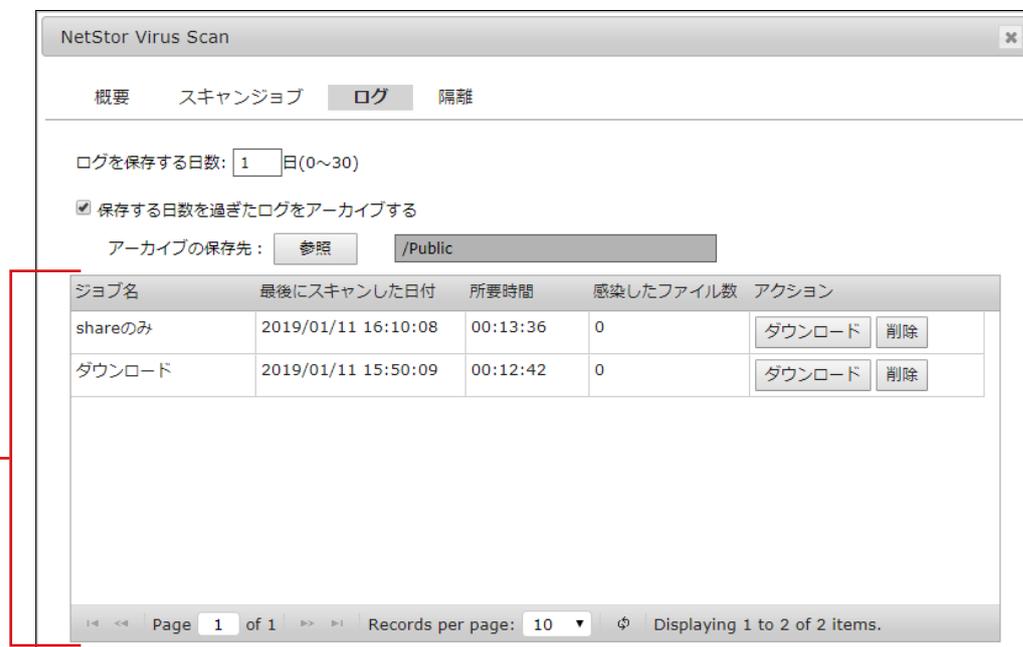
スキャンリスト



スキャンジョブ追加	新たにスキャンジョブを追加します。→ 13 ページ	
スキャンリスト	スキャンジョブの一覧が表示されます。	
	ジョブ名	ジョブ名が表示されます。
	最後にスキャンした日付	最後にスキャンを実行した日付が表示されます。 未実行の場合は「-」と表示されます。
	所要時間	最後のスキャン時にかかった時間を表示します。
	感染したファイル数	感染したファイル数が表示されます。
アクション	実行	スキャンジョブをすぐに実行します。
	編集	スキャンジョブを編集します。
	ログ	前回実行したスキャンジョブのログを表示します。
	削除	スキャンジョブを削除します。

4.3 ログ

ログリスト



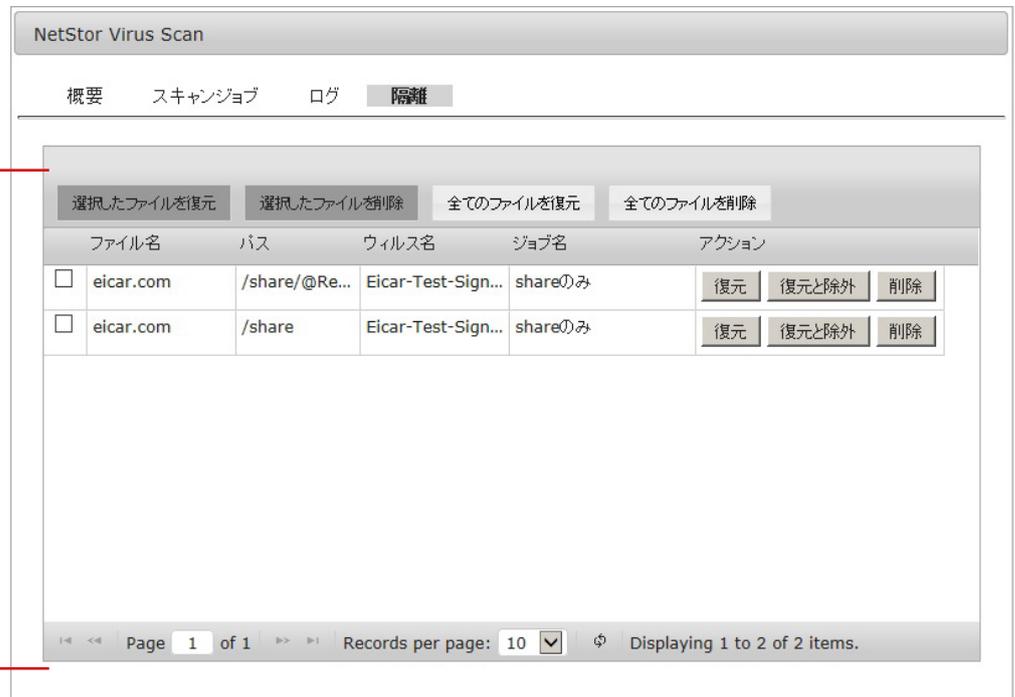
ログを保存する日数	ログを保存する日数を設定します。 「0」に設定すると、ログを残しません。											
保存する日数を過ぎたログをアーカイブする	チェックすると、保存日数を過ぎたログは指定したフォルダーに zip 形式で保存されます。アーカイブファイルの保存先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして設定してください。 アーカイブファイルは以下の名前で保存されます。 ・ Antivirus_logs_yyyy_mm_dd.zip 例) 2018年12月7日に保存された場合 ・ Antivirus_logs_2018_12_07.zip											
ログリスト	<p>ログの一覧が表示されます。</p> <table border="1"> <tr> <td>ジョブ名</td> <td>ジョブ名が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>最後にスキャンした日付</td> <td>最後にスキャンを実行した日付が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>所要時間</td> <td>最後のスキャン時にかかった時間を表示します。</td> </tr> <tr> <td>感染したファイル数</td> <td>感染したファイル数が表示されます。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アクション</td> <td>ダウンロード ログファイルをダウンロードします。</td> </tr> <tr> <td>削除 ログファイルを削除します。</td> </tr> </table>	ジョブ名	ジョブ名が表示されます。	最後にスキャンした日付	最後にスキャンを実行した日付が表示されます。	所要時間	最後のスキャン時にかかった時間を表示します。	感染したファイル数	感染したファイル数が表示されます。	アクション	ダウンロード ログファイルをダウンロードします。	削除 ログファイルを削除します。
ジョブ名	ジョブ名が表示されます。											
最後にスキャンした日付	最後にスキャンを実行した日付が表示されます。											
所要時間	最後のスキャン時にかかった時間を表示します。											
感染したファイル数	感染したファイル数が表示されます。											
アクション	ダウンロード ログファイルをダウンロードします。											
	削除 ログファイルを削除します。											

MEMO

ログの保存先に指定した共有フォルダーを削除した場合、削除設定の仕方によっては「共有フォルダーのみ削除」となり、Windows 等からアクセスできないフォルダーにログが保存されます。保存先の共有フォルダーの削除設定については、NAS 本体のユーザーズマニュアル、「共有フォルダーを作成する」の「共有フォルダーの削除」の項をご確認ください。

4.4

隔離



隔離ファイルリスト

隔離されたファイルの一覧が表示されます。

選択した／全ての
ファイルを復元

選択したファイル、または隔離ファイルリストに表示されているすべてのファイルをスキャン時に検出したフォルダーに移動します。

選択した／全ての
ファイルを削除

選択したファイル、または隔離ファイルリストに表示されているすべてのファイルを削除します。

隔離ファイルリスト

ファイル名	隔離されたファイルの名前が表示されます。	
パス	隔離されたパスの名前が表示されます。	
ウィルス名	隔離されたファイルに検出されたウィルス名が表示されます。	
ジョブ名	ウィルスが検出されたときのジョブ名が表示されます。	
アクション	復元	隔離したファイルをスキャン時に検出したフォルダーに移動します。
	復元と除外	隔離したファイルをスキャン時に検出したフォルダーに移動し、スキャン対象から除外します。 除外されたファイルは、スキャンジョブ編集画面の「ファイルフィルター」-「ファイルやフォルダーを除外」欄にファイルパスが追加されます。
	削除	隔離したファイルを削除します。



注意

隔離されたファイルは共有フォルダーから削除を行わず、この画面から削除を行ってください。
共有フォルダーから削除した場合「隔離ファイルリスト」から削除を実行できなくなります。

Chapter 5



よくあるご質問

■ アプリについて

Q1 NetStor Virus Scan アプリが使えなくなったのですが？

A1

- ・NASがインターネットに接続できているか確認してください。定期的にインターネット上の管理サーバーと通信するため、NASがインターネットと通信できることが必要です。
- ・該当のNASのRAIDを削除していませんか？RAIDを削除した場合はアプリも削除されるため、アプリを再インストールする必要があります。

Q2 アプリの管理画面の対応ブラウザは？

A2

NAS本体(管理用OS、ブラウザ)と同じです。

■ スキャンについて

Q3 スキャンできるファイルの最大サイズは？

A3 「空きメモリ容量」より「100MB」を差し引いたサイズとなります。また、別売増設メモリーにより最大4,095MBのファイルサイズまでスキャン可能となります。

Q4 圧縮ファイルはどの形式のファイルがスキャンできますか？

A4 以下のファイル形式に対応しています。
zip/gzip/7z/tar/xz

Q5 外付け USB、外部参照フォルダー、iSCSI、ISO 共有フォルダーのスキャンは可能ですか？

スキャン対象になるのは共有フォルダーのみとなります。

A5	スキャン対象	外付け USB
	スキャン対象外	外部参照フォルダー、iSCSI、ISO 共有フォルダー

Q6 「特定のフォルダー」で指定したフォルダーを名称変更した場合は、スキャンジョブを再設定する必要がありますか？

A6 はい、再設定する必要があります。
スキャンジョブを編集し、フォルダーを指定し直してください。

Q7 スキャンジョブは同時に実行できる？

A7 一度にスキャン動作できるスキャンタスクは1つのみとなります。
例えばスケジュールスキャンにて複数タスクが同時実行された場合、正しく動作しない場合があります。

Q8 ウイルス定義ファイルはどこから入手できますか？

A8 clamAVのオフィシャルサイト (<https://www.clamav.net/>) からのダウンロードすることができます。詳しい手順は19 ページをご参照ください。

Q9 手動で実行したスキャンジョブを停止できますか？

A9 スキャン実行中画面の「停止」ボタンを押してください。(17 ページのMEMOを参照)
スキャン実行中画面を×ボタンで閉じてしまった場合はスキャンジョブが終了するまでお待ちください。

■ こんなときは

Q10 スキャン中に NAS が再起動した場合は、スキャンは自動的に再開されますか？

A10 スキャン中にNASが再起動した場合は、自動的に再開されません。
再度手動で実行してください。

ウイルススキャンソフト NetStor Virus Scan
ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社